

【相手先企業】 茨城県商工会連合会

【開発経緯】

茨城県商工会連合会では、地域の資源を生かして既存のイメージにとらわれない新たな商品を開発することを目標に、平成20年度地域資源∞全国展開プロジェクト「馨る茨城！プロジェクト」を展開しました。この活動へ参加する商工会のうち、笠間市商工会では、笠間市友部地区で栽培されている菊を活用した香製品の開発を行いました。（他の参加商工会は、大子町・笠間市・大洗町・行方市玉造・つくば市・石岡市八郷の6地域）

【開発内容】

（１）乾燥方法の検討

お香の原料に菊を使用するには、菊を乾燥・粉末化する必要があります。主な乾燥方法には、自然乾燥、熱（風）乾燥、凍結乾燥がありますが、菊の香りの飛散や変色を抑えるために凍結乾燥を選択しました。

凍結させた菊を6Pa・35℃の条件下で乾燥させると48～60時間で十分な乾燥が可能であり、60時間以上で退色が目立つようになりました。また、この条件で凍結乾燥を行うと菊の香りの飛散も最小限に抑えられることが分かりました。

（２）乾燥前後の重量の測定

量産化する際の参考にするために、凍結乾燥前後の重量の測定を行いました。乾燥実施後の試料の重量は実施前と比較して花・葉の部分で15～17%、茎では32～45%になりました。花の部分のみでお香を制作する場合には多量の菊の花が必要になり、量産に向けた材料確保の体制づくりが課題となります。

（３）菊のお香の製作

菊の粉末、タブ粉（梣の木の樹皮の粉）を原料に駒村清明堂（石岡市）とお香を製作しました。

【開発結果】

今回開発された菊の香は、平成20年10月に東京ビックサイトで開催されたグルメ＆ダイニングタイルショーに出展されました。

平成21年7月を目標に販売予定です（販売元：駒村清明堂）。

今後も販売に向けて香りや色などの検討を重ねていくとのことで、支援を続けていきたいと考えております。



凍結乾燥実施後の菊の花



製作した菊のお香

基礎となった事業 平成20年度 オンリーワン技術開発支援事業（受託研究）

現在の担当部門

工芸技術部門

技師 望月 聡美

TEL : 0296-72-0316

食品バイオ部門

技師 岩佐 悟

TEL : 029-293-8576